

対象校No.
注4

学校コード
注3

設置年度 令和 7年度

計画の区分： 大学院の設置
注1

認可

注2

福島県立医科大学大学院 保健科学研究科 保健科学専攻 (修士課程)

【認可】設置に係る設置計画履行状況報告書 (改正後大学設置基準適用)

公立大学法人福島県立医科大学
令和7年5月1日現在

作成担当者

担当部局(課)名	保健科学部事務室
職名・氏名	シヨニンジヨウケンホウカカリチョウカマタ ナホコ 主任主査兼教務係長 宗方 尚子
電話番号	024-581-5509
(夜間)	024-581-5509
e-mail	h-gs@fmu.ac.jp

- (注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。
- 2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。
設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に
()書きにて、設置時の旧名称を記載してください。
例) 〇〇大学 △△学部 □□学科
(旧名称：◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))
表題は「計画の区分」に従い、記入してください。
例)
・大学の設置の場合：「〇〇大学」
・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
・大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」
・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
・大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」
・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」
- 3 学校コードについては、以下URLを確認の上、該当番号を記載してください。
なお、該当がない場合は、本番号は学校基本調査での「学校コード」と同様の番号ですので、
当該番号を記載してください。
https://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/mext_01087.html
- 4 対象校No.については、「【別紙】令和7年度AC報告書提出対象学科等.pdf」より、
該当番号を記載してください。

目次

保健科学研究科

＜保健科学研究科 保健科学専攻 修士課程＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	10
4. 既設大学等の状況	11
5. 教育研究実施組織の状況	12
6. 附帯事項等に対する履行状況等	30
7. その他全般的事項	31

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

公立大学法人福島県立医科大学

(2) 大学名

福島県立医科大学

(3) 調査対象大学等の位置

〒960-8516

福島県福島市栄町10番6号

(〒960-1295 福島県福島市光が丘1番地)

(注)・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。

・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(タケノシタ セイイチ) 竹之下 誠一 (令和2年4月1日)		
学長	(タケノシタ セイイチ) 竹之下 誠一 (令和2年4月1日)		
研究科長		(ハヤシ ヒロシ) 林 博史 (令和7年4月1日)	新規就任(7)

(注)・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を

()書きで記入してください。

(例) 令和6年度に報告する内容 → (6)

令和7年度に報告する内容 → (7)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

3年次			-	-	-	-	-	-	-	-	-
			[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]
			(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)
4年次					-	-	-	-	-	-	-
			[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]
			(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)
計	-	-	-	-	-	-	27	-	-	-	-
	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]
	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)

(注)・報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)

- ・ []内には、留学生の状況について、**内数**で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ ()内には、留年者の状況について、**内数**で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。
- ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。

(5) - ④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
令和2年度	- 人	- 人	令和2年度	- 人	- 人	
令和3年度	- 人	- 人	令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
令和4年度	- 人	- 人	令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
			令和4年度	人	人	
令和5年度	- 人	- 人	令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
			令和4年度	人	人	
			令和5年度	人	人	
令和6年度	- 人	- 人	令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
			令和4年度	人	人	
			令和5年度	人	人	
			令和6年度	人	人	
令和7年度	27 人	0 人	令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
			令和4年度	人	人	
			令和5年度	人	人	
			令和6年度	人	人	
			令和7年度	人	人	
合計		0 人		0 人	0 人	

- (注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- 各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。
 - 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
 - 在学者数、退学者数には編入学生や転入学生、転科生も含めて記入してください。
 - 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「修学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・修学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) - ⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(a+b)}} = \frac{-}{\#VALUE!} = \boxed{-} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(a+b)}} = \frac{-}{\#VALUE!} = \boxed{-} \%$$

【令和4年度】

$$\frac{\text{令和4年度の退学者数(a)}}{\text{令和4年度の在学者数(a+b)}} = \frac{-}{\#VALUE!} = \boxed{-} \%$$

【令和5年度】

$$\frac{\text{令和5年度の退学者数(a)}}{\text{令和5年度の在学者数(a+b)}} = \frac{-}{\#VALUE!} = \boxed{-} \%$$

【令和6年度】

$$\frac{\text{令和6年度の退学者数(a)}}{\text{令和6年度の在学者数(a+b)}} = \frac{-}{\#VALUE!} = \boxed{-} \%$$

【令和7年度】

$$\frac{\text{令和7年度の退学者数(a)}}{\text{令和7年度の在学者数(a+b)}} = \frac{0}{27} = \boxed{0} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<保健科学研究科保健科学専攻>

(1) ① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年度	主要授業科目	単位数			基幹教員等の配置					※外の教員(助手を除く)
				必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
共通科目	先端医療と多職種連携	1後	2			4	1					9
	医療・研究倫理学	1前	2									2
	保健科学研究方法論	1前	2			4						5
	保健科学教育論Ⅰ	1前		2								1
	保健科学教育論Ⅱ	1後		2								1
	医療統計学	1前		2								1
	データサイエンス(画像系)	1後		2		1						3
データサイエンス(オミクス解析)	1後		2								3	
小計(8科目)	—	—	6	10	0	8	1					24
専門基礎科目	身体障害とリハビリテーション	1前		2		1	1					7
	精神障害とリハビリテーション	1前		2		1						3
	老年期障害とリハビリテーション	1前		2		1						4
	発達障害とリハビリテーション	1前		2		1	1					1
	生体画像情報学	1前		2			1					8
	分子情報解析学	1前		2		1						6
	放射線計測と防護	1前		2		1						9
	放射線病態影響学	1前		2		1						3
	臨床検査学最新技術論	1前		2		1	2					10
	生物分子の分析と探求	1前		2		1						14
	小計(10科目)	—	—	0	20	0	7	7				
理学療法学領域科目	運動器障害学特論	1前		2		1						3
	運動器障害学演習Ⅰ	1後		2		1						3
	運動器障害学演習Ⅱ	2前		2		1						3
	神経・小児障害学特論	1前		2		2						1
	神経・小児障害学演習Ⅰ	1後		2		2						1
	神経・小児障害学演習Ⅱ	2前		2		2						1
	内部障害学特論	1前		2		1						2
	内部障害学演習Ⅰ	1後		2		1						2
	内部障害学演習Ⅱ	2前		2		1						2
	地域・予防学特論	1前		2		2	3					2
	地域・予防学演習Ⅰ	1後		2		1	1					2
	地域・予防学演習Ⅱ	2前		2		1	1					2
小計(12科目)	—	—	0	24	0	3	3					7
作業療法学領域科目	生活機能障害作業療法学特論	1前		2		4	2					
	心身機能作業療法学演習Ⅰ	1後		2		2	1					
	心身機能作業療法学演習Ⅱ	2前		2		2	1					
	活動・参加作業療法学演習Ⅰ	1後		2		2	1					
	活動・参加作業療法学演習Ⅱ	2前		2		2	1					
	小計(5科目)	—	—	0	10	0	4	2				
診療放射線科学領域科目	医用画像情報工学特論	1前		2		1						1
	医用画像情報工学演習Ⅰ	1後		2		1						
	医用画像情報工学演習Ⅱ	2前		2		1						1
	医用画像科学特論	1前		2		1						10
	医用画像科学演習Ⅰ	1後		2		1	1					2
	医用画像科学演習Ⅱ	2前		2		1	1					2
	核医学特論	1前		2		2						11
	核医学演習Ⅰ	1後		2		2						1
	核医学演習Ⅱ	2前		2		2						1
	放射線治療科学特論	1前		2		1	1					9
	放射線治療科学演習Ⅰ	1後		2		1	1					1
	放射線治療科学演習Ⅱ	2前		2		1	1					1
	医学物理特論	1前		2		3	1					10
	医学物理演習Ⅰ	1後		2		3	1					1
	医学物理演習Ⅱ	2前		2		3	1					1
小計(15科目)	—	—	0	30	0	5	3					34
臨床検査学領域科目	臨床病理学特論	1前		2		1	1					1
	臨床病理学演習Ⅰ	1後		2		1	1					1
	臨床病理学演習Ⅱ	2前		2		1	1					1
	臨床微生物学特論	1前		2		1						1
	臨床微生物学演習Ⅰ	1後		2		1						1
	臨床微生物学演習Ⅱ	2前		2		1						1
	臨床生理検査学特論	1前		2		1						2
	臨床生理検査学演習Ⅰ	1後		2		1						2
	臨床生理検査学演習Ⅱ	2前		2		1						2
	臨床血液学特論	1前		2		1						2
	臨床血液学演習Ⅰ	1後		2		1						2
	臨床血液学演習Ⅱ	2前		2		1						2
	疾患生化学特論	1前		2		1	2					1
	疾患生化学演習Ⅰ	1後		2		1	2					1
	疾患生化学演習Ⅱ	2前		2		1	2					1
小計(15科目)	—	—	0	30	0	5	3					7
特別研究	1後～2通			10		17	11					
小計(1科目)	—	—		10		17	11					
合計(66科目)	—	—	16	124	0	17	11					114

【令和7年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年度	主要授業科目	単位数			基幹教員等の配置					※外の教員(助手を除く)
				必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
共通科目	先端医療と多職種連携	1後	2			4	1					9
	医療・研究倫理学	1前	2									2
	保健科学研究方法論	1前	2			4						5
	保健科学教育論Ⅰ	1前		2								1
	保健科学教育論Ⅱ	1後		2								1
	医療統計学	1前		2								1
	データサイエンス(画像系)	1後		2		1						3
データサイエンス(オミクス解析)	1後		2								3	
小計(8科目)	—	—	6	10	0	8	1					24
専門基礎科目	身体障害とリハビリテーション	1前		2		1	1					7
	精神障害とリハビリテーション	1前		2		1						3
	老年期障害とリハビリテーション	1前		2		1						4
	発達障害とリハビリテーション	1前		2		1	1					1
	生体画像情報学	1前		2			1					8
	分子情報解析学	1前		2		1						6
	放射線計測と防護	1前		2		1						9
	放射線病態影響学	1前		2		1						3
	臨床検査学最新技術論	1前		2		1	2					10
	生物分子の分析と探求	1前		2		1						14
	小計(10科目)	—	—	0	20	0	7	6				
理学療法学領域科目	運動器障害学特論	1前		2		1						3
	運動器障害学演習Ⅰ	1後		2		1						3
	運動器障害学演習Ⅱ	2前		2		1						3
	神経・小児障害学特論	1前		2		2						1
	神経・小児障害学演習Ⅰ	1後		2		2						1
	神経・小児障害学演習Ⅱ	2前		2		2						1
	内部障害学特論	1前		2		1						2
	内部障害学演習Ⅰ	1後		2		1						2
	内部障害学演習Ⅱ	2前		2		1						2
	地域・予防学特論	1前		2		3	2					2
	地域・予防学演習Ⅰ	1後		2		2	2					2
	地域・予防学演習Ⅱ	2前		2		2	2					2
小計(12科目)	—	—	0	24	0	4	2					7
作業療法学領域科目	生活機能障害作業療法学特論	1前		2		4	2					
	心身機能作業療法学演習Ⅰ	1後		2		2	1					
	心身機能作業療法学演習Ⅱ	2前		2		2	1					
	活動・参加作業療法学演習Ⅰ	1後		2		2	1					
	活動・参加作業療法学演習Ⅱ	2前		2		2	1					
	小計(5科目)	—	—	0	10	0	4	2				
診療放射線科学領域科目	医用画像情報工学特論	1前		2		1						1
	医用画像情報工学演習Ⅰ	1後		2		1						
	医用画像情報工学演習Ⅱ	2前		2		1						1
	医用画像科学特論	1前		2		1						10
	医用画像科学演習Ⅰ	1後		2		1	1					2
	医用画像科学演習Ⅱ	2前		2		1	1					2
	核医学特論	1前		2		2						10
	核医学演習Ⅰ	1後		2		2						1
	核医学演習Ⅱ	2前		2		2						1
	放射線治療科学特論	1前		2		1	1					9
	放射線治療科学演習Ⅰ	1後		2		1	1					1
	放射線治療科学演習Ⅱ	2前		2		1	1					1
	医学物理特論	1前		2		3	1					10
	医学物理演習Ⅰ	1後		2		3	1					1
	医学物理演習Ⅱ	2前		2		3	1					1
小計(15科目)	—	—	0	30	0	5	2					33
臨床検査学領域科目	臨床病理学特論	1前		2		1	1					1
	臨床病理学演習Ⅰ	1後		2		1	1					1
	臨床病理学演習Ⅱ	2前		2		1	1					1
	臨床微生物学特論	1前		2		1						1
	臨床微生物学演習Ⅰ	1後		2		1						1
	臨床微生物学演習Ⅱ	2前		2		1						1
	臨床生理検査学特論	1前		2		1						

卒業要件及び履修方法

<修了要件>
修士課程に2年以上在学し、所定の授業科目について30単位以上を修得し、
必要な研究指導を受けた上で修士論文の審査及び試験に合格すること。

<履修方法>
・共通科目は、必修科目6単位を含む10単位以上を修得すること
・専門基礎科目は、4単位以上を修得すること
・各自の専門領域に応じて「理学療法学領域科目」「作業療法学領域科目」「診療放射線科学領域科目」「臨床検査学領域科目」の4領域から1領域を選択し、同一分野の特論と演習を含む6単位以上を修得すること
・特別研究は、10単位を修得すること

卒業要件及び履修方法

<修了要件>
修士課程に2年以上在学し、所定の授業科目について30単位以上を修得し、
必要な研究指導を受けた上で修士論文の審査及び試験に合格すること。

<履修方法>
・共通科目は、必修科目6単位を含む10単位以上を修得すること
・専門基礎科目は、4単位以上を修得すること
・各自の専門領域に応じて「理学療法学領域科目」「作業療法学領域科目」「診療放射線科学領域科目」「臨床検査学領域科目」の4領域から1領域を選択し、同一分野の特論と演習を含む6単位以上を修得すること
・特別研究は、10単位を修得すること

(注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)

- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
なお、設置認可時又は届出時、改正前大学設置基準(令和4年10月1日施行前)に基づき、対象学部等を設置している場合、改正後大学設置基準等(令和4年10月1日施行)の適用以前については、改正前様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引」の「教育課程等の概要」を確認してください。
- ・ 「基幹教員等の配置」欄は、大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は、「専任教員等の配置」としてください。
- ・ 「基幹教員等の配置」欄の「基幹教員以外の教員(助手を除く)」は、大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は、「専任教員以外の教員(助手を除く)」としてください。
- ・ 「認可時又は届出時」には設置認可時又は届出時の授業科目全て(基幹教員(大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は「専任教員」)以外の教員(助手を除く)(改正後大学設置基準等の適用以前は兼任・兼任教員)が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。
その上で、各年度については、認可時又は届出時から変更となっている箇所は**赤字の赤字**としてください。
なお、設置認可時又は届出時、改正前大学設置基準等(令和4年10月1日施行前)に基づき、対象学部等を設置している場合、「認可時又は届出時」の「主要授業科目」欄は削除し、「基幹教員等の配置」欄は「専任教員等の配置」、「基幹教員以外の教員(助手を除く)」欄は「兼任・兼任」としてください。その上で、各年度については、「基幹教員(大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は「専任教員」)数」は、認可時又は届出時の「専任教員」数との比較において変更となっている箇所、「基幹教員以外の教員(助手を除く)(大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は「専任教員以外の教員(助手を除く)」)数」は、認可時又は届出時の「兼任・兼任」数との比較において変更となっている箇所を**赤字の赤字**としてください。
(専任教員から基幹教員に変更したことをもって赤字の赤字とする必要はありません。)
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
- ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
- ・ 不要な年度(令和6年度開設であれば令和5年度以前)の表は適宜削除してください。
(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)
- ・ 専門職大学等の場合、「実験・実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。
- ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、旧カリキュラムについても記載してください。
その場合は、新カリキュラムを全て記載したのち、最後に記載欄を追加し、年度ごとに記載してください。
新旧がある年度については、その別がわかるように各年度の右側に(新)又は(旧)と追記してください。
(例:記載順)【認可時又は届出時】→【令和7年度(新)】→【令和6年度(新)】→【令和5年度】→【令和4年度】→【令和7年度(旧)】→【令和6年度(旧)】

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【令和7年度】

- ・ 担当教員(専任)が就任前に退職したことにより、「生体画像情報学」、「医用画像科学演習Ⅰ」、「医用画像科学演習Ⅱ」の基幹教員等の配置を「准教授1」から「准教授0」に変更。
- ・ 担当教員(専任)の職位変更により、「地域・予防学特論」の基幹教員等の配置を「教授2」「准教授3」から「教授3」「准教授2」に、同じく「地域・予防学演習Ⅰ」及び「地域・予防学演習Ⅱ」を「教授1」「准教授1」を「教授2」「准教授1」に変更。
- ・ 担当教員(その他)の就任辞退により、「核医学特論」の「基幹教員以外の教員」を「110」から「10」に変更。
- ・ 担当教員(専任)の職位変更及び就任前に退職したことにより、「特別研究」の基幹教員等の配置を「教授17」「准教授11」を「教授18」「准教授9」に変更。

- (注) ・ 2(1) - ① 授業科目表に記入された各年度における変更内容(配当年次の変更、基幹教員等の配置の変更、主要授業科目の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など)を箇条書きで記入してください。
変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。また、改正後大学設置基準(令和4年10月1日施行)の適用により、専任教員から基幹教員に変更した場合(例:「専任教員 教授1」から「基幹教員 教授1」に変更)や、兼任・兼任教員から基幹教員以外の教員に変更した場合(例:「兼任教員1」から「基幹教員以外の教員1」に変更)については、記入しないでください。
 - ・ 不要な年度(令和6年度開設であれば令和5年度以前)の表は適宜削除してください。
 - ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、新旧の変更内容をそれぞれ1つの枠内に記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計 (A)	必修	選択	自由	計	
4 科目	62 科目	0 科目	66 科目	4 科目 []	62 科目 []	0 科目 []	66 科目 []	

- (注)・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)
- ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、「変更状況」には変更後のカリキュラム（新カリキュラム）の授業科目数及び設置時の計画からの増減を記入するとともに、「備考」に変更前のカリキュラム（旧カリキュラム）の授業科目数と設置時の計画からの増減を記入してください。

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1	生体画像情報学	2	1年前期	専門	選択	科目責任者が就任前に本学を退職し、代替教員や非常勤講師の調整等が間に合わなかったため。当該科目の他のコマを担当している本学教員を新たに担当責任者として調整をした上で、令和7年度については後期に開講予定。
2						
3						

- (注)・配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
 - ・専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
 - ・該当がない場合は「未開講の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1						該当なし
2						
3						

- (注)・設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
 - ・専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
 - ・該当がない場合は「廃止の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

・上記科目の開講に係る措置については、新入生オリエンテーションにおいて学生へ説明しており、時間割上も問題はなく、学生の履修には影響はない。

- (注)・授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{1}{66} = \boxed{1.51} \%$$

(注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考			
(1) 校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計	福島駅前キャンパス (保健科学部) 借用面積 3,000.01㎡ 借用期間30年			
	校舎敷地	170,943.01㎡	0㎡	0㎡	170,943.01㎡				
	そ の 他	285,674㎡	0㎡	0㎡	285,674㎡				
	合 計	456,617.01㎡	0㎡	0㎡	456,617.01㎡				
(2) 校 舎	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計					
	72,314㎡	0㎡	0㎡	72,314㎡					
	(72,314㎡)	(0㎡)	(0㎡)	(72,314㎡)					
(3) 講義室等・新設研究科等の専任教員研究室	講義室	実験・実習室	演習室	新設研究科等の専任教員研究室					
	13室	31室	0室	28室					
(4) 図書・設備	新設学部等の名称	図 書		学術雑誌		機械・器具	標本		
		〔うち外国書〕	電子図書	〔うち外国書〕	電子ジャーナル				
		冊	〔うち外国書〕	種	〔うち外国書〕	点	点		
	保健科学研究科 保健科学専攻 修士課程	243,500 [96,885] (243,792 [96,000])	9,500 [435] (10,026 [722])	7,655 [3,030] (7,659 [3,031])	10,178 [8,612] (10,633 [9,054])	0 ()	28 (28)		
計	243,500 [96,885] (243,792 [96,000])	9,500 [435] (10,026 [722])	7,655 [3,030] (7,659 [3,031])	10,178 [8,612] (10,633 [9,054])	0 ()	28 (28)			
(5) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	予算額が減額となったため(7)
		教員1人当たり研究費等	577千円	577千円	図書購入費	55,087千円 61,636千円	55,087千円 61,636千円		
	共同研究費等	5,000千円	5,000千円	設備購入費	41,493千円	20,000千円	20,000千円		
	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		
	818千円	536千円	千円	千円	千円	千円			
学生納付金以外の維持方法の概要		運営費交付金、雑収入等							

(注)・設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の2)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)

- ・「(4)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には報告年度の5月1日現在の数値を記入してください。
- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(6)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・校舎等建物の計画の変更(校舎の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
- ・国立大学については「(5)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 既設大学等の状況

大学の名称	福島県立医科大学										収容定員充足率0.7倍以下の学科数	0	収容定員充足率1.15倍以上の学科数	0
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	収容定員充足率	収容定員充足率(控除後)	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	備考			
	年	人	年次人	人		倍	倍	年度	年度					
医学部	6	130	0	780	-			-	昭和27	-				
医学科	6	130	0	780	学士(医学)	1.02	-	-	昭和27	福島県福島市光が丘1番地				
看護学部	4	84	0	336	-			-	平成10	-				
看護学科	4	84	0	336	学士(看護学)	1.02	-	-	平成10	福島県福島市光が丘1番地				
保健科学部	4	145	0	580	-			-	令和3	-				
理学療法学科	4	40	0	160	学士(理学療法)	0.98	-	-	令和3	福島県福島市栄町10番6号				
作業療法学科	4	40	0	160	学士(作業療法)	1.01	-	-	令和3	同上				
診療放射線科学科	4	25	0	100	学士(診療放射線科学)	1.00	-	-	令和3	同上				
臨床検査学科	4	40	0	160	学士(臨床検査)	0.98	-	-	令和3	同上				
大学全体	-	359	0	1,696	-	-	-	-	-	-				

(注)・本調査の対象となっている大学、短期大学及び高等専門学校（以下「大学等」という。）について、既に設置している学部等（短期大学、高等専門学校にあっては学科等）の報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。（大学院、専攻科及び別科を除く）
 なお、本調査の対象となっている大学等の設置者が設置している他の大学等の状況については、記入する必要はありません。
 ・記載項目以外、保護をかけています。不要な行は、「非表示」設定としてください。また、記載する必要がない学校種の記載欄については、「入学定員超過率」及び「収容定員充足率」が0.7倍以下又は1.15倍以上の学科数を記入する項目を「-」とした上で、「非表示」設定としてください。
 ・学部の学科等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
 ※「入学定員を定めている組織」ごとに、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。
 履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 ・本年度ACの対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
 ・「収容定員充足率」には、報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。
 開設後、完成年度を迎えていない学科等については、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記載してください。
 算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引（令和8年度開設用）IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。
 ・「収容定員充足率（控除後）」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。
 なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「-」としてください。
 ・「収容定員充足率（控除後含む）」は、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
 また、0.7倍以下又は1.15倍以上の学科については、必ず太字にしてください。当該設定は、学科のみとし、学部及び専攻を太字にする必要はありません。
 ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。
 ・「所在地」及び「備考」欄については、セルの結合ではなく、書式設定より設定の上、文字サイズ変更を行ってください。
 詳しくは、本シート右に記載のコメント機能で操作方法を案内していますのでご参照ください。

5 教育研究実施組織の状況

<保健科学研究科保健科学専攻>

(1) ① 担当教員表

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名
		担当授業科目名
専	教授	矢吹 省司 <令和7年4月> 博士(医学)
		先端医療と多職種連携※ 運動器障害学特論 運動器障害学演習Ⅰ 運動器障害学演習Ⅱ 特別研究
専	教授	柴 喜崇 <令和7年4月> 博士(老年学)
		老年期障害とリハビリテーション※ 地域・予防学特論※ 地域・予防学演習Ⅰ 地域・予防学演習Ⅱ 特別研究
専	教授	森下 慎一郎 <令和7年4月> 博士(医学)
		保健科学研究方法論※ 身体障害とリハビリテーション※ 内部障害学特論※ 内部障害学演習Ⅰ※ 内部障害学演習Ⅱ※ 地域・予防学特論※ 特別研究
専	教授	五百川 和明 <令和7年4月> 博士(障害科学)
		生活機能障害作業療法学特論※ 心身機能作業療法学演習Ⅰ 心身機能作業療法学演習Ⅱ 特別研究
専	教授	林 博史 <令和7年4月> 博士(医学)
		精神障害とリハビリテーション※ 生活機能障害作業療法学特論※ 心身機能作業療法学演習Ⅰ 心身機能作業療法学演習Ⅱ 特別研究
専	教授	倉澤 茂樹 <令和7年4月> 博士(医学)
		発達障害とリハビリテーション※ 生活機能障害作業療法学特論※ 活動・参加作業療法学演習Ⅰ 活動・参加作業療法学演習Ⅱ 特別研究
専	教授	曾根 稔雅 <令和7年4月> 博士(医学)
		生活機能障害作業療法学特論※ 活動・参加作業療法学演習Ⅰ 活動・参加作業療法学演習Ⅱ 特別研究
		加藤 貴弘 <令和7年4月> 博士(医療技術学)

【令和7年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名
		担当授業科目名
専	教授	矢吹 省司 <令和7年4月> 博士(医学)
		先端医療と多職種連携※ 運動器障害学特論 運動器障害学演習Ⅰ 運動器障害学演習Ⅱ 特別研究
専	教授	柴 喜崇 <令和7年4月> 博士(老年学)
		老年期障害とリハビリテーション※ 地域・予防学特論※ 地域・予防学演習Ⅰ 地域・予防学演習Ⅱ 特別研究
専	教授	森下 慎一郎 <令和7年4月> 博士(医学)
		保健科学研究方法論※ 身体障害とリハビリテーション※ 内部障害学特論※ 内部障害学演習Ⅰ※ 内部障害学演習Ⅱ※ 地域・予防学特論※ 特別研究
専	教授	五百川 和明 <令和7年4月> 博士(障害科学)
		生活機能障害作業療法学特論※ 心身機能作業療法学演習Ⅰ 心身機能作業療法学演習Ⅱ 特別研究
専	教授	林 博史 <令和7年4月> 博士(医学)
		精神障害とリハビリテーション※ 生活機能障害作業療法学特論※ 心身機能作業療法学演習Ⅰ 心身機能作業療法学演習Ⅱ 特別研究
専	教授	倉澤 茂樹 <令和7年4月> 博士(医学)
		発達障害とリハビリテーション※ 生活機能障害作業療法学特論※ 活動・参加作業療法学演習Ⅰ 活動・参加作業療法学演習Ⅱ 特別研究
専	教授	曾根 稔雅 <令和7年4月> 博士(医学)
		生活機能障害作業療法学特論※ 活動・参加作業療法学演習Ⅰ 活動・参加作業療法学演習Ⅱ 特別研究
		加藤 貴弘 <令和7年4月> 博士(医療技術学)

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名
		担当授業科目名
専	教授	先端医療と多職種連携※ 放射線治療科学特論※ 放射線治療科学演習Ⅰ※ 放射線治療科学演習Ⅱ※ 医学物理特論※ 医学物理演習Ⅰ※ 医学物理演習Ⅱ※特別研究
専	教授	高橋 規之 ＜令和7年4月＞ 博士(保健学)
		データサイエンス(画像系)※ 医用画像情報工学特論※ 医用画像情報工学演習Ⅰ 医用画像情報工学演習Ⅱ※ 特別研究
専	教授	久保 均 ＜令和7年4月＞ 博士(工学)
		先端医療と多職種連携※ 医用画像科学特論※ 医用画像科学演習Ⅰ 医用画像科学演習Ⅱ 医学物理特論※ 医学物理演習Ⅰ※ 医学物理演習Ⅱ※ 特別研究
専	教授	長谷川 功紀 ＜令和7年4月＞ 博士(理学)
		保健科学研究方法論※ 分子情報解析学※ 核医学特論※ 核医学演習Ⅰ 核医学演習Ⅱ 特別研究
専	教授	三輪 建太 ＜令和7年4月＞ 博士(保健学)
		先端医療と多職種連携※ 保健科学研究方法論※ 核医学特論※ 核医学演習Ⅰ 核医学演習Ⅱ 医学物理特論※ 医学物理演習Ⅰ※ 医学物理演習Ⅱ※ 特別研究
専	教授	小川 一英 ＜令和7年4月＞ 博士(医学)
		臨床血液学特論※ 臨床血液学演習Ⅰ※ 臨床血液学演習Ⅱ※ 特別研究
専	教授	宇月(木原) 美和 ＜令和7年4月＞ 博士(医学)
		臨床検査学最新技術論※ 臨床病理学特論※ 臨床病理学演習Ⅰ 臨床病理学演習Ⅱ 特別研究
専	教授	豊川 真弘 ＜令和7年4月＞ 博士(保健学)
		臨床微生物学特論※ 臨床微生物学演習Ⅰ 臨床微生物学演習Ⅱ 特別研究

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名
		担当授業科目名
専	教授	先端医療と多職種連携※ 放射線治療科学特論※ 放射線治療科学演習Ⅰ※ 放射線治療科学演習Ⅱ※ 医学物理特論※ 医学物理演習Ⅰ※ 医学物理演習Ⅱ※特別研究
専	教授	高橋 規之 ＜令和7年4月＞ 博士(保健学)
		データサイエンス(画像系)※ 医用画像情報工学特論※ 医用画像情報工学演習Ⅰ 医用画像情報工学演習Ⅱ※ 特別研究
専	教授	久保 均 ＜令和7年4月＞ 博士(工学)
		先端医療と多職種連携※ 医用画像科学特論※ 医用画像科学演習Ⅰ 医用画像科学演習Ⅱ 医学物理特論※ 医学物理演習Ⅰ※ 医学物理演習Ⅱ※ 特別研究
専	教授	長谷川 功紀 ＜令和7年4月＞ 博士(理学)
		保健科学研究方法論※ 分子情報解析学※ 核医学特論※ 核医学演習Ⅰ 核医学演習Ⅱ 特別研究
専	教授	三輪 建太 ＜令和7年4月＞ 博士(保健学)
		先端医療と多職種連携※ 保健科学研究方法論※ 核医学特論※ 核医学演習Ⅰ 核医学演習Ⅱ 医学物理特論※ 医学物理演習Ⅰ※ 医学物理演習Ⅱ※ 特別研究
専	教授	小川 一英 ＜令和7年4月＞ 博士(医学)
		臨床血液学特論※ 臨床血液学演習Ⅰ※ 臨床血液学演習Ⅱ※ 特別研究
専	教授	宇月(木原) 美和 ＜令和7年4月＞ 博士(医学)
		臨床検査学最新技術論※ 臨床病理学特論※ 臨床病理学演習Ⅰ 臨床病理学演習Ⅱ 特別研究
専	教授	豊川 真弘 ＜令和7年4月＞ 博士(保健学)
		臨床微生物学特論※ 臨床微生物学演習Ⅰ 臨床微生物学演習Ⅱ 特別研究

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名
		〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	北爪(川口) しのぶ 〈令和7年4月〉 博士(理学)
		保健科学研究方法論※ 生物分子の分析と探求※ 疾患生化学特論※ 疾患生化学演習Ⅰ 疾患生化学演習Ⅱ 特別研究
専	教授	義久 精臣 〈令和7年4月〉 博士(医学)
		臨床生理検査学特論※ 臨床生理検査学演習Ⅰ 臨床生理検査学演習Ⅱ 特別研究
専	准教授	横塚(横塚) 美恵子 〈令和7年4月〉 博士(障害科学)
		地域・予防学特論※ 地域・予防学演習Ⅰ 地域・予防学演習Ⅱ 特別研究
専	准教授	阿部 浩明 〈令和7年4月〉 博士(医学)
		先端医療と多職種連携※ 身体障害とリハビリテーション※ 神経・小児障害学特論※ 神経・小児障害学演習Ⅰ※ 神経・小児障害学演習Ⅱ※ 地域・予防学特論※ 特別研究
専	准教授	楠本 泰士 〈令和7年4月〉 博士(理学療法)
		発達障害とリハビリテーション※ 神経・小児障害学特論※ 神経・小児障害学演習Ⅰ※ 神経・小児障害学演習Ⅱ※ 地域・予防学特論※ 特別研究
専	准教授	澄川 幸志 〈令和7年4月〉 博士(医学)
		生活機能障害作業療法学特論※ 活動・参加作業療法学演習Ⅰ 活動・参加作業療法学演習Ⅱ 特別研究
専	准教授	藤田 貴昭 〈令和7年4月〉 博士(保健学)
		生活機能障害作業療法学特論※ 心身機能作業療法学演習Ⅰ 心身機能作業療法学演習Ⅱ 特別研究
専	准教授	佐藤 久志 〈令和7年4月〉 博士(医学)
		放射線病態影響学※ 放射線治療科学特論※ 放射線治療科学演習Ⅰ※ 放射線治療科学演習Ⅱ※ 特別研究

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名
		〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	北爪(川口) しのぶ 〈令和7年4月〉 博士(理学)
		保健科学研究方法論※ 生物分子の分析と探求※ 疾患生化学特論※ 疾患生化学演習Ⅰ 疾患生化学演習Ⅱ 特別研究
専	教授	義久 精臣 〈令和7年4月〉 博士(医学)
		臨床生理検査学特論※ 臨床生理検査学演習Ⅰ 臨床生理検査学演習Ⅱ 特別研究
専	教授	横塚(横塚) 美恵子 〈令和7年4月〉 博士(障害科学)
		地域・予防学特論※ 地域・予防学演習Ⅰ 地域・予防学演習Ⅱ 特別研究
専	准教授	阿部 浩明 〈令和7年4月〉 博士(医学)
		先端医療と多職種連携※ 身体障害とリハビリテーション※ 神経・小児障害学特論※ 神経・小児障害学演習Ⅰ※ 神経・小児障害学演習Ⅱ※ 地域・予防学特論※ 特別研究
専	准教授	楠本 泰士 〈令和7年4月〉 博士(理学療法)
		発達障害とリハビリテーション※ 神経・小児障害学特論※ 神経・小児障害学演習Ⅰ※ 神経・小児障害学演習Ⅱ※ 地域・予防学特論※ 特別研究
専	准教授	澄川 幸志 〈令和7年4月〉 博士(医学)
		生活機能障害作業療法学特論※ 活動・参加作業療法学演習Ⅰ 活動・参加作業療法学演習Ⅱ 特別研究
専	准教授	藤田 貴昭 〈令和7年4月〉 博士(保健学)
		生活機能障害作業療法学特論※ 心身機能作業療法学演習Ⅰ 心身機能作業療法学演習Ⅱ 特別研究
専	准教授	佐藤 久志 〈令和7年4月〉 博士(医学)
		放射線病態影響学※ 放射線治療科学特論※ 放射線治療科学演習Ⅰ※ 放射線治療科学演習Ⅱ※ 特別研究

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名
		〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	五月女 康作 〈令和7年4月〉 博士(医学)
		生体画像情報学※ 医用画像科学演習Ⅰ 医用画像科学演習Ⅱ 特別研究
専	准教授	福田 篤志 〈令和7年4月〉 博士(保健学)
		放射線計測と防護※ 医学物理特論※ 医学物理演習Ⅰ※ 医学物理演習Ⅱ※ 特別研究
専	准教授	梅澤 敬 〈令和7年4月〉 博士(保健学)
		臨床検査学最新技術論※ 臨床病理学特論※ 臨床病理学演習Ⅰ 臨床病理学演習Ⅱ 特別研究
専	准教授	鈴木 英明 〈令和7年4月〉 博士(医学)
		臨床検査学最新技術論※ 疾患生化学特論※ 疾患生化学演習Ⅰ 疾患生化学演習Ⅱ 特別研究
専	准教授	菅野 光俊 〈令和7年4月〉 博士(医学)
		疾患生化学特論※ 疾患生化学演習Ⅰ 疾患生化学演習Ⅱ 特別研究
その他	教授	関亦 明子 〈令和7年4月〉 博士(保健学)
		先端医療と多職種連携※
その他	講師	川勝 忍 〈令和7年4月〉 博士(医学)
		先端医療と多職種連携※
その他	教授	小早川 雅男 〈令和7年4月〉 博士(医学)
		医療・研究倫理学※
その他	教授	本多 創史 〈令和7年4月〉 博士(学術)
		医療・研究倫理学※
その他	教授	高橋(高橋) 和弘 〈令和7年4月〉 博士(医学)
		分子情報解析学※

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名
		〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	福田 篤志 〈令和7年4月〉 博士(保健学)
		放射線計測と防護※ 医学物理特論※ 医学物理演習Ⅰ※ 医学物理演習Ⅱ※ 特別研究
専	准教授	梅澤 敬 〈令和7年4月〉 博士(保健学)
		臨床検査学最新技術論※ 臨床病理学特論※ 臨床病理学演習Ⅰ 臨床病理学演習Ⅱ 特別研究
専	准教授	鈴木 英明 〈令和7年4月〉 博士(医学)
		臨床検査学最新技術論※ 疾患生化学特論※ 疾患生化学演習Ⅰ 疾患生化学演習Ⅱ 特別研究
専	准教授	菅野 光俊 〈令和7年4月〉 博士(医学)
		疾患生化学特論※ 疾患生化学演習Ⅰ 疾患生化学演習Ⅱ 特別研究
その他	教授	関亦 明子 〈令和7年4月〉 博士(保健学)
		先端医療と多職種連携※
その他	講師	川勝 忍 〈令和7年4月〉 博士(医学)
		先端医療と多職種連携※
その他	教授	小早川 雅男 〈令和7年4月〉 博士(医学)
		医療・研究倫理学※
その他	教授	本多 創史 〈令和7年4月〉 博士(学術)
		医療・研究倫理学※
その他	教授	高橋(高橋) 和弘 〈令和7年4月〉 博士(医学)
		分子情報解析学※

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名
		<就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
その他	教授	鈴木 義行 <令和7年4月> 博士(医学)
		放射線病態影響学※ 放射線治療科学特論※ 医学物理特論※
その他	教授	田巻 倫明 <令和7年4月> 博士(医学)
		放射線病態影響学※ 放射線治療科学特論※ 医学物理特論※
その他	教授	池添 隆之 <令和7年4月> 博士(医学)
		臨床検査学最新技術論※
その他	教授	伊藤 浩 <令和7年4月> 博士(医学)
		医用画像科学特論※
その他	准教授	柴田 恭子 <令和7年4月> 博士(医学)
		医療統計学
その他	准教授	鷺山 幸信 <令和7年4月> 博士(保健学)
		分子情報解析学※
その他	准教授	吉本 由哉 <令和7年4月> 博士(医学)
		放射線病態影響学※
その他	講師	森山 信彰 <令和7年4月> 博士(保健学)
		老年期障害とリハビリテーション※
その他	講師	西嶋 剣一 <令和7年4月> 博士(薬学)
		分子情報解析学※
その他	講師	小山 大輔 <令和7年4月> 博士(医学)
		臨床検査学最新技術論※
その他	講師	松田 希 <令和7年4月> 博士(医学)
		臨床検査学最新技術論※
その他	講師	右近 直之 <令和7年4月> 博士(医学)
		核医学特論※ 医学物理特論※

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名
		<就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
その他	教授	鈴木 義行 <令和7年4月> 博士(医学)
		放射線病態影響学※ 放射線治療科学特論※ 医学物理特論※
その他	教授	田巻 倫明 <令和7年4月> 博士(医学)
		放射線病態影響学※ 放射線治療科学特論※ 医学物理特論※
その他	教授	池添 隆之 <令和7年4月> 博士(医学)
		臨床検査学最新技術論※
その他	教授	伊藤 浩 <令和7年4月> 博士(医学)
		医用画像科学特論※
その他	准教授	柴田 恭子 <令和7年4月> 博士(医学)
		医療統計学
その他	准教授	鷺山 幸信 <令和7年4月> 博士(保健学)
		分子情報解析学※
その他	教授	吉本 由哉 <令和7年4月> 博士(医学)
		放射線病態影響学※
その他	講師	森山 信彰 <令和7年4月> 博士(保健学)
		老年期障害とリハビリテーション※
その他	講師	西嶋 剣一 <令和7年4月> 博士(薬学)
		分子情報解析学※
その他	講師	小山 大輔 <令和7年4月> 博士(医学)
		臨床検査学最新技術論※
その他	講師	松田 希 <令和7年4月> 博士(医学)
		臨床検査学最新技術論※
その他	講師	右近 直之 <令和7年4月> 博士(医学)
		核医学特論※ 医学物理特論※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名
		<就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
その他	講師	中野渡 達哉 <令和7年4月> 博士(障害科学)
		先端医療と多職種連携※ 身体障害とリハビリテーション※ 運動器障害学特論 運動器障害学演習Ⅰ 運動器障害学演習Ⅱ 地域・予防学特論※
その他	講師	遠藤 康裕 <令和7年4月> 博士(保健学)
		身体障害とリハビリテーション※ 運動器障害学特論 運動器障害学演習Ⅰ 運動器障害学演習Ⅱ 地域・予防学特論※
その他	講師	石川 陽子 <令和7年4月> 博士(保健学)
		精神障害とリハビリテーション※
その他	講師	川又 寛徳 <令和7年4月> 博士(作業療法学)
		保健科学研究方法論※ 老年期障害とリハビリテーション※
その他	講師	浅尾 章彦 <令和7年4月> 博士(保健学)
		先端医療と多職種連携※ 身体障害とリハビリテーション※
その他	講師	川崎 伊織 <令和7年4月> 博士(障害科学)
		先端医療と多職種連携※ 保健科学研究方法論※ 精神障害とリハビリテーション※
その他	講師	広藤(廣藤) 喜章 <令和7年4月> 博士(医療技術学)
		放射線計測と防護※
その他	講師	大葉 隆 <令和7年4月> 博士(医学)
		保健科学研究方法論※ 放射線計測と防護※
その他	講師	山品 博子 <令和7年4月> 博士(医学)
		先端医療と多職種連携※ 生体画像情報学※ 医用画像科学演習Ⅰ 医用画像科学演習Ⅱ
その他	講師	高橋(高橋) 一人 <令和7年4月> 博士(水産科学)
		臨床病理学特論※ 臨床病理学演習Ⅰ 臨床病理学演習Ⅱ
		飯島 順子 <令和7年4月> 博士(医学)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名
		<就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
その他	講師	中野渡 達哉 <令和7年4月> 博士(障害科学)
		先端医療と多職種連携※ 身体障害とリハビリテーション※ 運動器障害学特論 運動器障害学演習Ⅰ 運動器障害学演習Ⅱ 地域・予防学特論※
その他	講師	遠藤 康裕 <令和7年4月> 博士(保健学)
		身体障害とリハビリテーション※ 運動器障害学特論 運動器障害学演習Ⅰ 運動器障害学演習Ⅱ 地域・予防学特論※
その他	講師	石川 陽子 <令和7年4月> 博士(保健学)
		精神障害とリハビリテーション※
その他	講師	川又 寛徳 <令和7年4月> 博士(作業療法学)
		保健科学研究方法論※ 老年期障害とリハビリテーション※
その他	講師	浅尾 章彦 <令和7年4月> 博士(保健学)
		先端医療と多職種連携※ 身体障害とリハビリテーション※
その他	講師	川崎 伊織 <令和7年4月> 博士(障害科学)
		先端医療と多職種連携※ 保健科学研究方法論※ 精神障害とリハビリテーション※
その他	講師	広藤(廣藤) 喜章 <令和7年4月> 博士(医療技術学)
		放射線計測と防護※
その他	准教授	大葉 隆 <令和7年4月> 博士(医学)
		保健科学研究方法論※ 放射線計測と防護※
その他	講師	山品 博子 <令和7年4月> 博士(医学)
		先端医療と多職種連携※ 生体画像情報学※ 医用画像科学演習Ⅰ 医用画像科学演習Ⅱ
その他	講師	高橋(高橋) 一人 <令和7年4月> 博士(水産科学)
		臨床病理学特論※ 臨床病理学演習Ⅰ 臨床病理学演習Ⅱ
		飯島 順子 <令和7年4月> 博士(医学)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名
		担当授業科目名
その他	講師	生物分子の分析と探求※ 疾患生化学特論※ 疾患生化学演習Ⅰ 疾患生化学演習Ⅱ
その他	講師	須賀 淳子 ＜令和7年4月＞ 博士(医学)
		先端医療と多職種連携※
その他	講師	藤野 高志 ＜令和7年4月＞ 修士(医科学)
		先端医療と多職種連携※
その他	講師	野々垣 晶代 ＜令和7年4月＞ 博士(看護)
		先端医療と多職種連携※
その他	講師	前田 かおり ＜令和7年4月＞ 博士(薬学) 修士(経営学)
		保健科学研究方法論※
その他	講師	植田 啓嗣 ＜令和7年4月＞ 博士(学術)
		保健科学教育論Ⅰ 保健科学教育論Ⅱ
その他	講師	松山 江里 ＜令和7年4月＞ 博士(保健学)
		データサイエンス(画像系)※
その他	講師	近藤 世範 ＜令和7年4月＞ 博士(工学)
		データサイエンス(画像系)※ 医用画像情報工学演習Ⅱ※
その他	講師	渡部 晴之 ＜令和7年4月＞ 博士(保健医療学)
		データサイエンス(画像系)※
その他	講師	今井 賢一郎 ＜令和7年4月＞ 博士(工学)
		データサイエンス(オミクス解析)※
その他	講師	鍵和田 晴美 ＜令和7年4月＞ 博士(理学)
		データサイエンス(オミクス解析)※
その他	講師	川田 健太郎 ＜令和7年4月＞ 博士(理学)
		データサイエンス(オミクス解析)※ 生物分子の分析と探求※
その他	講師	高橋(高橋) 雄一 ＜令和7年4月＞ 修士(医科学)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名
		担当授業科目名
その他	講師	生物分子の分析と探求※ 疾患生化学特論※ 疾患生化学演習Ⅰ 疾患生化学演習Ⅱ
その他	講師	須賀 淳子 ＜令和7年4月＞ 博士(医学)
		先端医療と多職種連携※
その他	講師	藤野 高志 ＜令和7年4月＞ 修士(医科学)
		先端医療と多職種連携※
その他	講師	野々垣 晶代 ＜令和7年4月＞ 博士(看護)
		先端医療と多職種連携※
その他	講師	前田 かおり ＜令和7年4月＞ 博士(薬学) 修士(経営学)
		保健科学研究方法論※
その他	講師	植田 啓嗣 ＜令和7年4月＞ 博士(学術)
		保健科学教育論Ⅰ 保健科学教育論Ⅱ
その他	講師	松山 江里 ＜令和7年4月＞ 博士(保健学)
		データサイエンス(画像系)※
その他	講師	近藤 世範 ＜令和7年4月＞ 博士(工学)
		データサイエンス(画像系)※ 医用画像情報工学演習Ⅱ※
その他	講師	渡部 晴之 ＜令和7年4月＞ 博士(保健医療学)
		データサイエンス(画像系)※
その他	講師	今井 賢一郎 ＜令和7年4月＞ 博士(工学)
		データサイエンス(オミクス解析)※
その他	講師	鍵和田 晴美 ＜令和7年4月＞ 博士(理学)
		データサイエンス(オミクス解析)※
その他	講師	川田 健太郎 ＜令和7年4月＞ 博士(理学)
		データサイエンス(オミクス解析)※ 生物分子の分析と探求※
その他	講師	高橋(高橋) 雄一 ＜令和7年4月＞ 修士(医科学)

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名
		<就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
		精神障害とリハビリテーション※
その他	講師	大 淵 修一
		<令和7年4月> 博士(医学)
		老年期障害とリハビリテーション※
その他	講師	上 出 直人
		<令和7年4月> 博士(老年学)
		老年期障害とリハビリテーション※
その他	講師	柳 沼 里英
		<令和7年4月> 専門士
		発達障害とリハビリテーション※
その他	講師	瓜 倉 厚志
		<令和7年4月> 博士(保健学)
		生体画像情報学※
その他	講師	茅 野 伸吾
		<令和7年4月> 博士(医学)
		生体画像情報学※
その他	講師	町 田 好男
		<令和7年4月> 博士(工学)
		生体画像情報学※
その他	講師	杉 森 博行
		<令和7年4月> 博士(保健科学)
		生体画像情報学※
その他	講師	田 中 利恵
		<令和7年4月> 修士(保健学)
		生体画像情報学※
その他	講師	山 崎 誘三
		<令和7年4月> 博士(医学)
		生体画像情報学※
その他	講師	木 村 寛之
		<令和7年4月> 博士(薬学)
		分子情報解析学※
その他	講師	永 津 弘太郎
		<令和7年4月> 博士(工学)
		分子情報解析学※

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名
		<就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
		精神障害とリハビリテーション※
その他	講師	大 淵 修一
		<令和7年4月> 博士(医学)
		老年期障害とリハビリテーション※
その他	講師	上 出 直人
		<令和7年4月> 博士(老年学)
		老年期障害とリハビリテーション※
その他	講師	柳 沼 里英
		<令和7年4月> 専門士
		発達障害とリハビリテーション※
その他	講師	瓜 倉 厚志
		<令和7年4月> 博士(保健学)
		生体画像情報学※
その他	講師	茅 野 伸吾
		<令和7年4月> 博士(医学)
		生体画像情報学※
その他	講師	町 田 好男
		<令和7年4月> 博士(工学)
		生体画像情報学※
その他	講師	杉 森 博行
		<令和7年4月> 博士(保健科学)
		生体画像情報学※
その他	講師	田 中 利恵
		<令和7年4月> 修士(保健学)
		生体画像情報学※
その他	講師	山 崎 誘三
		<令和7年4月> 博士(医学)
		生体画像情報学※
その他	講師	木 村 寛之
		<令和7年4月> 博士(薬学)
		分子情報解析学※
その他	講師	永 津 弘太郎
		<令和7年4月> 博士(工学)
		分子情報解析学※

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名
		＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
その他	講師	武田 伸一郎 ＜令和7年4月＞ 博士（理学）
		分子情報解析学※
その他	講師	松原 孝祐 ＜令和7年4月＞ 博士（保健学）
		放射線計測と防護※
その他	講師	竹西 亜古 ＜令和7年4月＞ 博士（文学）
		放射線計測と防護※
その他	講師	藤淵 俊王 ＜令和7年4月＞ 博士（医学）
		放射線計測と防護※
その他	講師	保田 浩志 ＜令和7年4月＞ 博士（工学）
		放射線計測と防護※
その他	講師	細田 正洋 ＜令和7年4月＞ 博士（保健科学）
		放射線計測と防護※
その他	講師	阿部 悠 ＜令和7年4月＞ 博士（保健学）
		放射線計測と防護※
その他	講師	河原 明彦 ＜令和7年4月＞ 博士（医学）
		臨床検査学最新技術論※
その他	講師	八鍬 恒芳 ＜令和7年4月＞ 臨床検査技師
		臨床検査学最新技術論※
その他	講師	柿坂 庸介 ＜令和7年4月＞ 博士（医学）
		臨床検査学最新技術論※
その他	講師	大楠 清文 ＜令和7年4月＞ 博士（保健学）
		臨床検査学最新技術論※

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名
		＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
その他	講師	武田 伸一郎 ＜令和7年4月＞ 博士（理学）
		分子情報解析学※
その他	講師	松原 孝祐 ＜令和7年4月＞ 博士（保健学）
		放射線計測と防護※
その他	講師	竹西 亜古 ＜令和7年4月＞ 博士（文学）
		放射線計測と防護※
その他	講師	藤淵 俊王 ＜令和7年4月＞ 博士（医学）
		放射線計測と防護※
その他	講師	保田 浩志 ＜令和7年4月＞ 博士（工学）
		放射線計測と防護※
その他	講師	細田 正洋 ＜令和7年4月＞ 博士（保健科学）
		放射線計測と防護※
その他	講師	阿部 悠 ＜令和7年4月＞ 博士（保健学）
		放射線計測と防護※
その他	講師	河原 明彦 ＜令和7年4月＞ 博士（医学）
		臨床検査学最新技術論※
その他	講師	八鍬 恒芳 ＜令和7年4月＞ 臨床検査技師
		臨床検査学最新技術論※
その他	講師	柿坂 庸介 ＜令和7年4月＞ 博士（医学）
		臨床検査学最新技術論※
その他	講師	大楠 清文 ＜令和7年4月＞ 博士（保健学）
		臨床検査学最新技術論※

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名
		<就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
その他	講師	西村 翔
		<令和7年4月> 医師
		臨床検査学最新技術論※
その他	講師	戸塚 実
		<令和7年4月> 博士(医学)
		臨床検査学最新技術論※
その他	講師	富田 泰輔
		<令和7年4月> 博士(薬学)
		生物分子の分析と探求※
その他	講師	鈴木 匡
		<令和7年4月> 博士(理学)
		生物分子の分析と探求※
その他	講師	笹栗 弘貴
		<令和7年4月> 博士(医学)
		生物分子の分析と探求※
その他	講師	白水 美香子
		<令和7年4月> 博士(理学)
		生物分子の分析と探求※
その他	講師	川口 寧
		<令和7年4月> 博士(獣医)
		生物分子の分析と探求※
その他	講師	田口 友彦
		<令和7年4月> 博士(理学)
		生物分子の分析と探求※
その他	講師	清宮 啓之
		<令和7年4月> 博士(薬学)
		生物分子の分析と探求※
その他	講師	芳賀 淑美
		<令和7年4月> 博士(工学)
		生物分子の分析と探求※
その他	講師	安田 純
		<令和7年4月> 博士(医学)
		生物分子の分析と探求※
その他	講師	佐藤 ちひろ
		<令和7年4月> 博士(理学)
		生物分子の分析と探求※

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名
		<就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
その他	講師	西村 翔
		<令和7年4月> 医師
		臨床検査学最新技術論※
その他	講師	戸塚 実
		<令和7年4月> 博士(医学)
		臨床検査学最新技術論※
その他	講師	富田 泰輔
		<令和7年4月> 博士(薬学)
		生物分子の分析と探求※
その他	講師	鈴木 匡
		<令和7年4月> 博士(理学)
		生物分子の分析と探求※
その他	講師	笹栗 弘貴
		<令和7年4月> 博士(医学)
		生物分子の分析と探求※
その他	講師	白水 美香子
		<令和7年4月> 博士(理学)
		生物分子の分析と探求※
その他	講師	川口 寧
		<令和7年4月> 博士(獣医)
		生物分子の分析と探求※
その他	講師	田口 友彦
		<令和7年4月> 博士(理学)
		生物分子の分析と探求※
その他	講師	清宮 啓之
		<令和7年4月> 博士(薬学)
		生物分子の分析と探求※
その他	講師	芳賀 淑美
		<令和7年4月> 博士(工学)
		生物分子の分析と探求※
その他	講師	安田 純
		<令和7年4月> 博士(医学)
		生物分子の分析と探求※
その他	講師	佐藤 ちひろ
		<令和7年4月> 博士(理学)
		生物分子の分析と探求※

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名
		＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
その他	講師	岡谷 千晶
		＜令和7年4月＞ 博士（農学）
		生物分子の分析と探求※
その他	講師	黒柳 秀人
		＜令和7年4月＞ 博士（理学）
		生物分子の分析と探求※
その他	講師	大村 知己
		＜令和7年4月＞ 博士（保健学）
		医用画像情報工学特論※
その他	講師	栴沢 宏之
		＜令和7年4月＞ 博士（医学）
		医用画像科学特論※
その他	講師	田代 学
		＜令和7年4月＞ 博士（医学）
		医用画像科学特論※
その他	講師	渡部 浩司
		＜令和7年4月＞ 博士（工学）
		医用画像科学特論※
その他	講師	水間 広
		＜令和7年4月＞ 博士（保健学）
		医用画像科学特論※
その他	講師	疋島 啓吾
		＜令和7年4月＞ 博士（保健学）
		医用画像科学特論※
その他	講師	畑 純一
		＜令和7年4月＞ 博士（放射線学）
		医用画像科学特論※
その他	講師	齋藤 茂芳
		＜令和7年4月＞ 博士（医学）
		医用画像科学特論※
その他	講師	栗林 秀人
		＜令和7年4月＞ 博士（薬学）
		医用画像科学特論※
その他	講師	原田 雅史
		＜令和7年4月＞ 博士（医学）
		医用画像科学特論※

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名
		＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
その他	講師	岡谷 千晶
		＜令和7年4月＞ 博士（農学）
		生物分子の分析と探求※
その他	講師	黒柳 秀人
		＜令和7年4月＞ 博士（理学）
		生物分子の分析と探求※
その他	講師	大村 知己
		＜令和7年4月＞ 博士（保健学）
		医用画像情報工学特論※
その他	講師	栴沢 宏之
		＜令和7年4月＞ 博士（医学）
		医用画像科学特論※
その他	講師	田代 学
		＜令和7年4月＞ 博士（医学）
		医用画像科学特論※
その他	講師	渡部 浩司
		＜令和7年4月＞ 博士（工学）
		医用画像科学特論※
その他	講師	水間 広
		＜令和7年4月＞ 博士（保健学）
		医用画像科学特論※
その他	講師	疋島 啓吾
		＜令和7年4月＞ 博士（保健学）
		医用画像科学特論※
その他	講師	畑 純一
		＜令和7年4月＞ 博士（放射線学）
		医用画像科学特論※
その他	講師	齋藤 茂芳
		＜令和7年4月＞ 博士（医学）
		医用画像科学特論※
その他	講師	栗林 秀人
		＜令和7年4月＞ 博士（薬学）
		医用画像科学特論※
その他	講師	原田 雅史
		＜令和7年4月＞ 博士（医学）
		医用画像科学特論※

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名
		<就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
その他	講師	我妻 慧
		<令和7年4月> 博士(保健学)
		核医科学特論※
その他	講師	前田 幸人
		<令和7年4月> 博士(医学)
		核医科学特論※
その他	講師	市川 肇
		<令和7年4月> 博士(保健学)
		核医科学特論※
その他	講師	柿野 諒
		<令和7年4月> 博士(人間健康科学)
		核医科学特論※
その他	講師	山谷 泰賀
		<令和7年4月> 博士(工学)
		核医科学特論※
その他	講師	赤松 剛
		<令和7年4月> 博士(保健学)
		核医科学特論※
その他	講師	西井 龍一
		<令和7年4月> 博士(医学)
		核医科学特論※
その他	講師	堀田 昌利
		<令和7年4月> 博士(医学)
		核医科学特論※
その他	講師	木下 尚紀
		<令和7年4月> 博士(医療技術学)
		放射線治療科学特論※ 医学物理特論※
その他	講師	大平 新吾
		<令和7年4月> 博士(保健学)
		放射線治療科学特論※ 医学物理特論※
その他	講師	角谷 倫之
		<令和7年4月> 博士(医療技術学)
		放射線治療科学特論※ 医学物理特論※
その他	講師	勝田 義之
		<令和7年4月> 博士(医学)

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名
		<就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
その他	講師	我妻 慧
		<令和7年4月> 博士(保健学)
		核医科学特論※
その他	講師	前田 幸人
		<令和7年4月> 博士(医学)
		核医科学特論※
その他	講師	市川 肇
		<令和7年4月> 博士(保健学)
		核医科学特論※
その他	講師	山谷 泰賀
		<令和7年4月> 博士(工学)
		核医科学特論※
その他	講師	赤松 剛
		<令和7年4月> 博士(保健学)
		核医科学特論※
その他	講師	西井 龍一
		<令和7年4月> 博士(医学)
		核医科学特論※
その他	講師	堀田 昌利
		<令和7年4月> 博士(医学)
		核医科学特論※
その他	講師	木下 尚紀
		<令和7年4月> 博士(医療技術学)
		放射線治療科学特論※ 医学物理特論※
その他	講師	大平 新吾
		<令和7年4月> 博士(保健学)
		放射線治療科学特論※ 医学物理特論※
その他	講師	角谷 倫之
		<令和7年4月> 博士(医療技術学)
		放射線治療科学特論※ 医学物理特論※
その他	講師	勝田 義之
		<令和7年4月> 博士(医学)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名
		〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
		放射線治療科学特論※ 医学物理特論※
その他	講師	新井 一弘 〈令和7年4月〉 博士(医学)
		放射線治療科学特論※ 医学物理特論※
その他	講師	富永 裕樹 〈令和7年4月〉 博士(統合科学)
		放射線治療科学特論※ 医学物理特論※
その他	助教	星 真行 〈令和7年4月〉 博士(医学)
		身体障害とリハビリテーション※ 地域・予防学演習Ⅰ 地域・予防学演習Ⅱ
その他	助教	岡崎 可奈子 〈令和7年4月〉 博士(医学)
		身体障害とリハビリテーション※ 内部障害学特論※ 内部障害学演習Ⅰ※ 内部障害学演習Ⅱ※ 地域・予防学演習Ⅰ 地域・予防学演習Ⅱ
その他	助教	小俣 純一 〈令和7年4月〉 修士(保健学)
		身体障害とリハビリテーション※ 運動器障害学特論 運動器障害学演習Ⅰ 運動器障害学演習Ⅱ
その他	助教	佐藤 聡見 〈令和7年4月〉 博士(障害科学)
		保健科学研究方法論※ 身体障害とリハビリテーション※ 内部障害学特論※ 内部障害学演習Ⅰ※ 内部障害学演習Ⅱ※
その他	助教	高橋(高橋) 恵里 〈令和7年4月〉 博士(理学療法)
		神経・小児障害学特論※ 神経・小児障害学演習Ⅰ※ 神経・小児障害学演習Ⅱ※
その他	助教	田代 雅実 〈令和7年4月〉 博士(医学)
		生体画像情報学※ 医用画像科学演習Ⅰ 医用画像科学演習Ⅱ
その他	助教	宮司 典明 〈令和7年4月〉 博士(保健学)
		核医学特論※ 核医学演習Ⅰ 核医学演習Ⅱ
		原田 崇臣 〈令和7年4月〉 博士(保健学)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名
		〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
		放射線治療科学特論※ 医学物理特論※
その他	講師	新井 一弘 〈令和7年4月〉 博士(医学)
		放射線治療科学特論※ 医学物理特論※
その他	講師	富永 裕樹 〈令和7年4月〉 博士(統合科学)
		放射線治療科学特論※ 医学物理特論※
その他	助教	星 真行 〈令和7年4月〉 博士(医学)
		身体障害とリハビリテーション※ 地域・予防学演習Ⅰ 地域・予防学演習Ⅱ
その他	助教	岡崎 可奈子 〈令和7年4月〉 博士(医学)
		身体障害とリハビリテーション※ 内部障害学特論※ 内部障害学演習Ⅰ※ 内部障害学演習Ⅱ※ 地域・予防学演習Ⅰ 地域・予防学演習Ⅱ
その他	助教	小俣 純一 〈令和7年4月〉 修士(保健学)
		身体障害とリハビリテーション※ 運動器障害学特論 運動器障害学演習Ⅰ 運動器障害学演習Ⅱ
その他	助教	佐藤 聡見 〈令和7年4月〉 博士(障害科学)
		保健科学研究方法論※ 身体障害とリハビリテーション※ 内部障害学特論※ 内部障害学演習Ⅰ※ 内部障害学演習Ⅱ※
その他	助教	高橋(高橋) 恵里 〈令和7年4月〉 博士(理学療法)
		神経・小児障害学特論※ 神経・小児障害学演習Ⅰ※ 神経・小児障害学演習Ⅱ※
その他	助教	田代 雅実 〈令和7年4月〉 博士(医学)
		生体画像情報学※ 医用画像科学演習Ⅰ 医用画像科学演習Ⅱ
その他	講師	宮司 典明 〈令和7年4月〉 博士(保健学)
		核医学特論※ 核医学演習Ⅰ 核医学演習Ⅱ
		原田 崇臣 〈令和7年4月〉 博士(保健学)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名
		<就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
その他	助教	放射線計測と防護※ 放射線治療科学特論※ 放射線治療科学演習Ⅰ※ 放射線治療科学演習Ⅱ※ 医学物理特論※ 医学物理演習Ⅰ※ 医学物理演習Ⅱ※
その他	助教	堀越 裕子 <令和7年4月> 博士(医学)
		臨床生理検査学特論※ 臨床生理検査学演習Ⅰ 臨床生理検査学演習Ⅱ
その他	助教	三浦 里織 <令和7年4月> 博士(医学)
		臨床検査学最新技術論※ 臨床血液学特論※ 臨床血液学演習Ⅰ※ 臨床血液学演習Ⅱ※
その他	助教	丹野 大樹 <令和7年4月> 博士(保健学)
		臨床微生物学特論※ 臨床微生物学演習Ⅰ 臨床微生物学演習Ⅱ
その他	助教	松田 将門 <令和7年4月> 博士(医学)
		臨床血液学特論※ 臨床血液学演習Ⅰ※ 臨床血液学演習Ⅱ※
その他	助教	平田 理絵 <令和7年4月> 博士(医学)
		臨床生理検査学特論※ 臨床生理検査学演習Ⅰ 臨床生理検査学演習Ⅱ
その他	助手	山尾 天翔 <令和7年4月> 博士(医学)
		核医学特論※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名
		<就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
その他	助教	放射線計測と防護※ 放射線治療科学特論※ 放射線治療科学演習Ⅰ※ 放射線治療科学演習Ⅱ※ 医学物理特論※ 医学物理演習Ⅰ※ 医学物理演習Ⅱ※
その他	助教	堀越 裕子 <令和7年4月> 博士(医学)
		臨床生理検査学特論※ 臨床生理検査学演習Ⅰ 臨床生理検査学演習Ⅱ
その他	助教	三浦 里織 <令和7年4月> 博士(医学)
		臨床検査学最新技術論※ 臨床血液学特論※ 臨床血液学演習Ⅰ※ 臨床血液学演習Ⅱ※
その他	助教	丹野 大樹 <令和7年4月> 博士(保健学)
		臨床微生物学特論※ 臨床微生物学演習Ⅰ 臨床微生物学演習Ⅱ
その他	助教	松田 将門 <令和7年4月> 博士(医学)
		臨床血液学特論※ 臨床血液学演習Ⅰ※ 臨床血液学演習Ⅱ※
その他	助教	平田 理絵 <令和7年4月> 博士(医学)
		臨床生理検査学特論※ 臨床生理検査学演習Ⅰ 臨床生理検査学演習Ⅱ
その他	助教	山尾 天翔 <令和7年4月> 博士(医学)
		核医学特論※

(注)・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)

- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第3号(その2の1)(その2の2)(その2の3)に準じて作成してください。
なお、設置認可時又は届出時、改正前大学設置基準等(令和4年10月1日施行前)に基づき、対象学部等を設置している場合、改正後大学設置基準等(令和4年10月1日施行)の適用以前については、改正前様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引」の「教員名簿」を確認してください。
- ・ 「認可時又は届出時」には設置認可時又は届出時の教員全て(基幹教員(大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は「専任教員」)以外の教員(助手を除く)(改正後大学設置基準等の適用以前は兼任、兼任教員)を含む。)を黒字で記入してください。
- ・ その上で、各年度については、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は赤字**としてください。
- ・ 年齢は、**それぞれの年度の5月1日時点の満年齢**を記入してください。
- ・ 記載は、設置認可時又は届出時における「大学の設置等に係る提出書類作成の手引」の「教員区分」(改正後大学設置基準等の適用以前は「専任等区分」)の順に記入してください。
- ・ 改正後大学設置基準等(令和4年10月1日施行)の適用以降については、主要授業科目にあたる「担当授業科目名
- ・ 教員がサバティカル等で不在の期間がある場合、その期間(年月日)を上段「学位」の下へ記入してください。
- ・ 不要な年度(令和6年度開設であれば令和5年度以前)の表は適宜削除してください。
- ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、「担当授業科目名」の上段に変更後の

(1) 一②担当教員表に関する変更内容

【令和7年度】

- ・専任横塚(横塚)美恵子准教授の職名を教授に変更。(令和7年3月教員審査済)
- ・専任五月女康作准教授が就任前に本学を退職したため削除。
- ・その他吉本由哉准教授の職名を教授に変更。
- ・その他大葉隆講師の職名を准教授に変更。(専任教員としてAC教員審査申請中)
- ・その他柿野諒講師が就任を辞退したため削除。
- ・その他宮司典明助教の職名を講師に変更。
- ・その他山尾天翔助手の職名を助教に変更。

- (注)・変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ **認可で設置された学部等の基幹(専任)教員を変更する場合は**、当該基幹(専任)教員が授業を開始する前に必ず「基幹(専任)教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。
原則としてAC教員審査を受けずに基幹(専任)教員として授業等を担当することは出来ません。
なお、改正前大学設置基準等に基づいて認可を受けて設置された学部等が、改正後大学設置基準等への適用のため、大学が基幹教員の要件を満たすと判断した「専任教員」を「基幹教員」とする場合は、AC教員審査を受審する必要はない扱いとしています。(改正後大学設置基準等の適用にあたり、「基幹教員」の担当授業科目を追加する場合、「基幹教員」の担当授業科目の内容を変更するなど、AC教員審査の受審を求めている事由が発生する場合は、AC教員審査を受審する必要があります)
 - ・ AC教員審査の結果、「可」の教員判定を受けている場合は「○年○月教員審査済」と記入してください。
なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
 - ・ 不要な年度(令和6年度開設であれば令和5年度以前)の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要研究 指導教員数	うち、完成年度時における 設置基準上の必要教授数	完成年度時における 設置基準上の必要研究 指導補助教員数
6	4	-
名	名	名

(注)・大学院に専攻ごとに置くものとする教員の数について定める件（平成十一年九月十四日文部省告示第百七十五号）により算出される教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員等数【大学院】

設置時の計画						現在（報告時）の状況					
教授	准教授	講師	助教	計（A）	助手（A'）	教授	准教授	講師	助教	計（B）	助手（B'）
17	11	0	0	28	0	18	9	0	0	27	0
(17)	(11)	(0)	(0)	(28)	(0)						
研究指導 教員数	うち教授 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数	/		研究指導 教員数	うち教授 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数	/	
28	17	0	0			27	18	0	0		
(28)	(17)	(0)	(0)			(27)	(18)	(0)	(0)		
現在（報告時）の完成年度時の状況						現在（報告時）の完成年度時の計画					
教授	准教授	講師	助教	計（C）	助手（C'）	教授	准教授	講師	助教	計（D）	助手（D'）
18	9	0	0	27	0	18	9	0	0	27	0
[1]	[Δ]	[0]	[0]	[Δ]	[0]	[1]	[Δ]	[0]	[0]	[Δ]	[0]
研究指導 教員数	うち教授 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数	/		研究指導 教員数	うち教授 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数	/	
27	17	0	0			27	18	0	0		
(27)	(17)	(0)	(0)			(27)	(18)	(0)	(0)		

(注)・「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、（ ）内に開設時の状況を記入してください。
 ・「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、認可で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、
教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を、届出で設置された学部等の場合は、
「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、完成年度までに就任することが決定している教員数を加えた数を記入するとともに、
 [] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）
 ・「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、
 [] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告時（上記 （B））の教員の うち、定年を延長 して採用している 教員数	完成年度時（上記 （C））の教員う ち、定年を延長し て採用する教員数
65	0	0
歳	名	名

(注)・「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、
 及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている
 教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二重書きで記入し、
 「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

現在（報告時）の完成年度時の状況(C) = $\frac{27}{28}$ = 96.42 %

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数 = $\frac{0}{n}$ = 0 %

現在(報告時)の状況(B) $\frac{\quad}{27}$ = $\frac{\quad}{\quad}$ %

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

現在(報告時)の完成年度時の状況(C) $\frac{\quad}{\quad}$ = $\frac{0}{0}$ = $\frac{\quad}{\quad}$ %

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 基幹（専任）教員辞任等の理由

(3) - ① 基幹（専任）教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	基幹（専任）教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由			
1	准教授	五月女 康作	R7.3	選択	生体画像情報学	②	他大学の専任教員就任のためR7.3月末に本学を退職			
				選択	医用画像科学演習Ⅰ	①				
				選択	医用画像科学演習Ⅱ	①				
				選択	特別研究	① ※当該教員の担当テーマによる研究指導は行わない				
合計（D）					後任補充状況の集計（E）					
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）			①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）			
1	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	4	科目	選択	3	科目	選択	1	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	4	科目	計	3	科目	計	1	科目

(注)・認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての基幹（専任）教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。

- ・「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ② 基幹（専任）教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
- ・昨年度の報告後から今年度の報告時まで基幹（専任）教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
- ・また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・基幹（専任）教員が担当する（している）場合は「①」
- ・基幹（専任）教員以外の教員（兼任兼担教員）が担当する（している）場合は「②」
- ・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 基幹（専任）教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	基幹（専任）教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由			
							該当なし			
合計（F）					後任補充状況の集計（G）					
辞任した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）			①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）			
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

(注)・一度就任した後に、定年による退職以外の理由で辞任した全ての基幹（専任）教員について、記入してください。

- (学年進行中に基幹教員の要件を満たさなくなったことにより、基幹教員でなくなった教員についても記入してください。)
- ・昨年度の報告後から今年度の報告時まで基幹（専任）教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - ・また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・基幹（専任）教員が担当する（している）場合は「①」
- ・基幹（専任）教員以外の教員（兼任兼担教員）が担当する（している）場合は「②」
- ・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ③ 上記 (3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計 (D) + (F)				後任補充状況の集計 (E) + (G)					
辞任等した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
1	人	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
		選択	4 科目	選択	3 科目	選択	1 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	4 科目	計	3 科目	計	1 科目	計	0 科目

(3) -④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - \textcircled{3} \text{合計(D)+(F)}}{(2) - \textcircled{2} \text{設置時の計画(A)}} = \frac{1}{28} = 3.57 \%$$

(注) ・ 小数点以下第 3 位を切り捨て、小数点以下第 2 位まで表示されます。

(3) -⑤ 令和 6 年度報告書から、新たに辞任等した基幹（専任）教員等の状況

0 人

(注) ・ (3) -①、(3) -②で赤字で記載した基幹（専任）教員数の合計数を記載してください。

・令和 7 年度開設の学科等の場合、(D) + (F) と同数を記載してください。

(3) -⑥ 定年により退職した基幹（専任）教員に対する後任補充状況

番号	職位	基幹（専任）教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由			
						該当なし			
合計				後任補充状況の集計					
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
0	人	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
		選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目

(注) ・ 定年により退職した全ての基幹（専任）教員について、記入してください。

・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに基幹（専任）教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。

・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・基幹（専任）教員が担当する（している）場合は「①」
- ・基幹（専任）教員以外の教員（兼任兼担教員）が担当する（している）場合は「②」
- ・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 基幹（専任）教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

・ 生体画像情報学（1 年次前期）については、未就任となった教員の担当コマは学内の他の教員が担当することとし、令和 7 年度については後期に開講を予定している。当該措置については、新入生オリエンテーションにおいて学生へ説明し、時間割上も問題はなく、学生の履修には影響はない。

・ 医用画像科学演習Ⅰ（1 年次後期）及び医用画像科学演習Ⅱ（2 年次前期）については、いずれも共同授業であり、未就任となった教員が抜けるのみで、その他の担当教員により授業を実施する予定であり、学生の履修には影響はない。

・ 特別研究（1 年次後期～2 年次通年）については、研究指導教員（認可時 28 人）の担当テーマ毎に、それぞれ研究・論文作成を行う科目であるが、未就任となった教員のテーマを希望する学生がいなかったため、影響はない。

(注) ・ 上記 (3) の基幹（専任）教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今 後 の 実 施 計 画
認 可 時 (令和6年)	本研究科修了後の進路として「介護福祉施設」を挙げているが、介護施設と社会福祉施設は異なる施設であり、学生の誤認を招く恐れがあることから、学生募集等に当たっては、適切な表現に改めること。 【認可】 遵守事項	令和7年度学生募集要項及び本学ホームページにおける広報において、「介護施設、社会福祉施設」という表現に改め、周知を行った。【資料1(P2)、2】(7)	履行済
認 可 時 (令和6年)	入学者選抜の実施に当たっては、選抜区分ごとの選抜方法、評価・判定基準に加えて、募集人数を志願者に対して明確に示すこと。 【認可】 遵守事項	令和7年度学生募集要項において、選抜区分（一般選抜・社会人選抜）ごとに選抜方法を記載するとともに、評価・判定基準については出題科目とアドミッションポリシーとの対応について具体的な内容を記載した。また募集人数については各選抜区分の合計数であり、区分ごとの人数は定めない旨記載した。【資料1(P4)】(7)	履行済

(注)・「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。以下同様。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。

- ・ 認可時または届出時に付された附帯事項に対する履行状況等の記載に当たっては、以下のとおり記載してください。

【令和6年度報告書から記載内容に変更がある場合】

令和6年度報告書の記載内容を転記し文末に「(6)」と記載した上で、変更後の「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「(7)」と記載してください。

【令和6年度報告書から記載内容に変更がない場合】

令和6年度報告書の記載内容を転記し文末に「(6) (7)」と記載してください。

【令和7年度から新たに調査対象となった学科等又は令和6年度設置計画履行状況調査で付された指摘の場合】

「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「(7)」と記載してください。

- ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的かつ明確に記入**してください。その履行状況等の参考や根拠となる資料があれば、添付してください。
- ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
- ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<保健科学研究科保健科学専攻修士課程>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
	該当なし

(注)・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

① 実施体制

a 委員会の設置状況

福島県立医科大学保健科学部ファカルティ・ディベロップメント委員会要綱

(趣旨)

第1条 この要綱は、福島県立医科大学保健科学部ファカルティ・ディベロップメント委員会（以下「委員会」という。）の組織及び運営に関して必要な事項を定めるものとする。

(組織等)

第2条 委員会は、保健科学部の教員若干名からなる委員をもって組織する。

2 前項に掲げる委員は、保健科学部教授会（以下「教授会」という。）の議を経て学部長が選任する。

3 委員の任期は2年とし、再任を妨げない。ただし、委員に欠員が生じたときはこれを補充し、その任期は前任者の残任期間とする。

(所掌事項)

第3条 委員会は、次に掲げる教員の質の向上に関する事項を審議する。

(1) 新任教員のオリエンテーション・プログラムの作成と実施に関すること。

(2) 教員研修の計画の作成と実施に関すること。

(3) その他、教員の教育能力の向上・開発に関すること。

(委員長及び委員会の招集)

第4条 委員会に委員長及び副委員長を置く。

2 委員長及び副委員長は、委員の互選により選出する。

3 委員長は、委員会を招集し、その議長となる。

4 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故あるときはその職務を代理する。

(委員以外の者の出席)

第5条 委員会は、必要に応じて委員以外の者を出席させ、意見等を聴取することができる。

(結果の報告)

第6条 委員会の審議結果は、教授会に随時報告をする。

(庶務)

第7条 委員会の庶務は、事務局保健科学部事務室において行う。

附 則

この要綱は、令和3年4月1日から施行する。

b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

本学に保健科学部を開設した令和3年4月1日より、上記要綱のとおり保健科学部ファカルティ・ディベロップメント委員会（以下、保健科学部FD委員会という。）を設置した。

委員会は年5回程度開催している。（保健科学研究科専任教員は全て学部教員を兼務しており、当該委員会の議事は本研究科教員のFDも兼ねている）

c 委員会の審議事項等

- ・新任教員のオリエンテーション・プログラムの作成と実施に関すること。
- ・教員研修の計画の作成と実施に関すること。
- ・その他、教員の教育能力の向上・開発に関すること。

② 実施状況

a 実施内容

- ・FD委員会（5回）
- ・FD研修会（2回）

b 実施方法

保健科学部FD委員会が企画・実施を担う。

FD研修会ではアンケートを実施することで参加教員の意見を次回の研修会に活かす。

c 開催状況（教員の参加状況含む）

- ・令和6年7月18日 第1回FD研修会「保健科学部共同研究事業について」
※対象67名中45名が当日参加し、16名が後日動画を視聴した。
- ・令和6年12月19日 第2回FD研修会「臨地実習に向けての取り組み」
※対象67名中43名が当日参加し、24名が後日動画を視聴した。

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

- ・それぞれのテーマに基づく研修会を通じて得た専門的な知見を通常の講義や講義外の学生支援にフィードバックしている。
- ・個々の教員の意識改革だけでなく、各学科において意見交換を行い、問題点やその改善方法を共有するなど教員の質向上に資するものとなっている。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

前期・後期のそれぞれの終了時に授業科目ごとに実施を予定している。

b 教員や学生への公開状況、方法等

大学院保健科学研究科委員会で集計結果の分析を行い、全教員へ周知を行う。学生からの意見については、担当教員に対応・改善方法を求め、教務システムにより学生へフィードバックを行うことを予定している。

(注)・「① a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

本研究科では、福島県内で養成した人材を長期にわたる安定的な県内就業へと繋げ、県内の医療の質を向上させることを目的とし、研究分野における高度な専門性に基づき、活動の場において修得した知識および科学的思考を実践・還元できる能力を有し、主に福島県内で活躍する教育・研究者および臨床専門職者を養成する。

また、設置の基礎となる保健科学部の特徴である「多職種協働の意識づけ」を発展させ、実際の課題解決に向け考察し提案を行うなど、自ら働きかける能力の強化を狙いとし、4領域の学生が共通科目において他の職種の最新動向や医療現場の課題を学び、多職種協働の視点を持ちながら専門領域の学修に取り組むことで、課題に対し多角的なアプローチを行い、多職種協働の中で自身の専門性を発揮したチームへの貢献方法を考え、実践の場へ還元できるような人材を養成する。

これらの目的を達成するために、教育課程の編成方針（カリキュラム・ポリシー）に基づき教育課程を編成し、アセスメント・ポリシーに従い教育の成果の評価を行いながら、学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）に示す能力の修得を目指す教育を行う。

開設初年度となる令和7年度は、共通科目として、研究に必要な基礎理論と方法論の知識を修得する「保健科学研究方法論」や、保健医療分野に関わる専門家が先端医療の進展にどのように関与・推進していくかを学ぶ「先端医療と多職種連携」等を開講する。また、本研究科の専門基礎科目10科目及び各領域ごとの演習科目等を開講する。専門基礎科目のうち「生体画像情報学」（1年次前期）については、就任予定であった科目責任者の退職により今年度前期は未開講となったが、2(3)および5(3)(4)のとおり、後期に開講を予定しており、学生の履修には影響はない。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

- ・業務実績報告書 毎年6月 公表
- ・自己評価書 令和6年5月 公表

b 公表方法

- ・大学ホームページ上に公開予定

③ 認証評価を受ける計画

（専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院については、機関別認証評価と分野別認証評価それぞれの受審計画について記載してください。）

- ・令和6年度に評価機関（一般財団法人大学教育質保証・評価センター）による大学機関別認証評価を受審し、大学設置基準をはじめとする関係法令に適合し、同センターが定める大学評価基準を満たしていると認定された。その結果は大学ホームページ上に公開している。
- ・次回の受審は令和12年度を予定している。

(注)・設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和7年度）

a 公表予定の有無 [有 ・ 無]

≪ a で「有」の場合 ≫

b 公表（予定）時期 [調査結果公表後1ヶ月以内 ・ 公表後2～3ヶ月以内 ・ 公表後3ヶ月以降]

c 公表方法 [ウェブサイトへの掲載 ・ その他 ()]

《 aで公表「無」の場合》

d 公表しない理由 [

]

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、

設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。